

【 第37回熊本大学定例学長記者懇談会 】

日 時：令和6年9月11日（水）14：00～15：00（予定）

場 所：本部棟1階 大会議室

本学出席者：熊本大学長

小川 久雄

理事（研究・グローバル戦略担当）

大谷 順

理事（広報・ブランディング・行政連携担当）

宮尾 千加子

内 容：

1. 台湾・韓国との3か国連携デザインキャンプについて（資料1）
工学部グローバル人材基礎教育センター 特定事業教員 生野 朋子
2. Kumadai-Hub の取り組みについて ー内閣府第2回総合知活用事例に選定ー（資料2）
大学院人文社会科学研究部（文学系） 准教授 西川 里織
大学院生命科学研究部（基礎系） 助教 佐藤 叔史
3. 学生ベンチャー夢プロジェクト2024について（資料3）
熊本創生推進機構 特任教授 入江 英也
熊本創生推進機構 特任助教 猪俣 雄也
4. その他

台湾・韓国との 3か国連携デザインキャンプ 実施報告

工学部附属グローバル人材基礎教育センター
生野朋子

TABLE OF CONTENTS

- 01 International Capstone
Camp and Contestとは
- 02 ICDC2024について
- 03 学生の感想
- 04 まとめ

01

International Capstone Design Camp and Contestとは

[背景]

平成22年より韓国東亜大学校からのオファーにより国際連携においてリーダーシップをとれる学生を育成するため始まった事業です。

平成28年に台湾高雄科技大学が正式に参加し、3か国での事業となりました。

[事業内容]

熊本大学2名、東亜大学2名、高雄科技大学2名の6名を一班とし国際混成グループを10班作り、課題のもとに製品企画・設計・プロトタイプ製作を行います。

5月末からLINE等を使い作品検討をはじめ、7月には企画書発表、8月には対面してプロトタイプ製作を行います。

01 International Capstone Design Camp and Contestとは

[過去実施]

実施年	開催地	テーマ
平成22	韓国	自然エネルギーを使用した省エネ機器の開発
平成23	韓国	自然エネルギーを使用した省エネ機器の開発
平成24	日本	緊急時の便利グッズ
平成25	日本	材料を活かしたものづくり
平成26	韓国	環境改善のためのグッズ

実施年	開催地	テーマ
平成27	日本	高齢者支援グッズ・社会対応システム
平成28	台湾	2週間留守の家でペットをケアするグッズ
平成29	韓国	How to provide safety when you walking street
平成30	日本	Educational toys for preschool kids
令和元	台湾	Smart designs for houseware improvement
令和5	韓国	Innovative solution for better campus life

02

ICDC2024について

[概要]

テーマ

Unprecedented moving devices to facilitate human life

開催地

熊本大学

キャンプ日程

8月22日～31日

02 ICDC2024について

[スケジュール]

	5月	6月	7月	8月	
事前活動	参加者募集と決定	□—□			
	ZOOM対面式	□			
	CAD/Arduino/ものづくり講習会		□—□		
	毎週の活動報告	□—□—□—□			
	企画書発表会			□—□	
	再検討			□—□—□	
キャンプ中	対面での検討			◆◆	
	製作			◆◆	
	コンテスト			◆◆	

02

ICDC2024

Zoomを使って
3大学をつなぎ
対面式を行います



02

ICDC2024

3D CAD
Arduino
ものづくり
3つの講習会で
知識を



02

ICDC2024

毎週の報告は
学内のオンライン
学習管理システム
moodleを通じて

活動

- フォーラム
- リソース
- 課題
- 外部ツール
- 投票

管理

- フォーラム管理
 - 設定
 - ローカルに割り当てられるロール
 - パーミッション
 - パーミッションをブエックする
 - フィルタ
 - コンピテンシブレイクダウン
 - ログ
 - バックアップ
 - リストア
 - 高度な設定
 - 購読モード
 - 購読
 - レポート
 - エクスポート
- コース管理

ナビゲーション

グループ9：毎週の報告フォーラム

View posting list

フォーラムを検索する

ディスカッション	ディスカッション開始	最新の投稿 ↓	返信	購読する
☆ 第8・9週間報告	2022-13-156 新垣 謙介 2024年 07月 26日	大淵 慶史 2024年 08月 09日	2	<input type="checkbox"/>
☆ 先週の報告を提出してください	生野 朋子 2024年 07月 22日	生野 朋子 2024年 07月 22日	0	<input type="checkbox"/>
☆ 第7週週間報告	2022-13-156 新垣 謙介 2024年 07月 15日	生野 朋子 2024年 07月 16日	1	<input type="checkbox"/>
☆ 第6週週間報告	2022-13-156 新垣 謙介 2024年 07月 5日	生野 朋子 2024年 07月 8日	1	<input type="checkbox"/>
☆ 第5週週間報告	2022-13-156 新垣 謙介 2024年 06月 28日	生野 朋子 2024年 06月 28日	1	<input type="checkbox"/>
☆ 第4週活動報告	2022-13-156 新垣 謙介 2024年 06月 21日	生野 朋子 2024年 06月 24日	1	<input type="checkbox"/>
☆ 第3週活動報告	2023-18-102 田上 朝 2024年 06月 16日	生野 朋子 2024年 06月 17日	1	<input type="checkbox"/>
☆ 第二週報告書	2022-13-156 新垣 謙介 2024年 06月 11日	生野 朋子 2024年 06月 12日	1	<input type="checkbox"/>
☆ 週間報告の提出をお願いします	生野 朋子 2024年 06月 10日	生野 朋子 2024年 06月 11日	1	<input type="checkbox"/>
☆ 第1週活動報告	2022-13-156 新垣 謙介 2024年 05月 31日	生野 朋子 2024年 06月 3日	1	<input type="checkbox"/>

02

ICDC2024

福岡空港で
実際の初対面



02

ICDC2024

オリエンテーション



02

ICDC2024

ウェルカムパーティ



02

ICDC2024

対面での討論



02

ICDC2024

中間発表を経て
製作物が決定



02

ICDC2024

九州唯一の
パーツセンターへ
物品調達



02

ICDC2024

先生方の指導にも
熱が入ります



02

ICDC2024

製作中も
交流が深まる



02

ICDC2024

デモでプロトタイプを動かし審査員にアピール



02

ICDC2024

最終プレゼン



02

ICDC2024

最優秀賞1件
優秀賞2件
敢闘賞3件
入賞4件
の結果発表です



02

ICDC2024

バスを見送る
熊大生



03

学生の感想

ものづくりも初めてでしたが、当初考えていたよりもずっと単純で、しっかりとした機体があり、考えられた回路があり、ミスのないプログラムがあれば思い通りに動かせることを実感しました。

海外の方と関わるのが初めてで、英語もできない中不安で仕方なかったですが、実際関わると、英語ができるできないよりも関わろうとする意欲が大事だと知ったことです。

04

まとめ

得難い友情の確立

- ・ 一生ものの友情
- ・ 2015年参加学生のインスタストーリーズ

チャレンジ精神の涵養

- ・ トビタテ留学JAPAN
- ・ 国際学会での発表

分野を超えたものづくりへの興味

- ・ デザインアワードへの応募
- ・ 応用科学の学生が電気自動車サークルへ

ご静聴ありがとうございました

2024年9月11日 於・第38回定例学長記者懇談会



2024年9月11日 於・第38回定例学長記者懇談会

もくじ:

1. 「総合知」とはなにか
2. 内閣府「総合知」活用事例の選定
3. Kumadai-Hubについて
4. お知らせ



西川里織（大学院人文社会科学研究部）・坂井華海（大学院自然科学教育部）

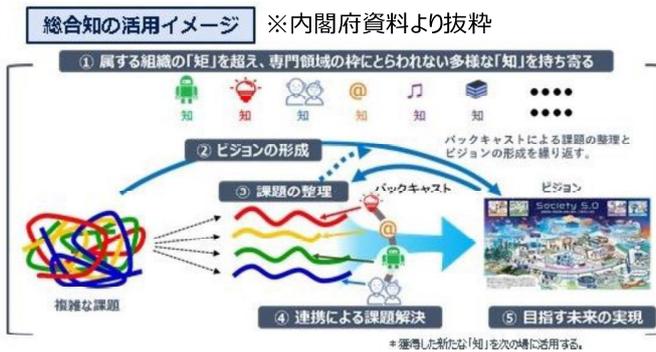
1. 「総合知」とはなにか

総合知：多様な「知」が集い、新たな価値を創出する「知の活力」を生むこと

- 多様な「知」が集うとは、属する組織の「矩」を超え、専門領域の枠にとらわれない多様な「知」が集うことである。
- 新たな価値を創出するとは、安全・安心の確保とWell-beingの最大化に向けた未来像を描くだけでなく、社会実装に向けた具体的な手段も見出し、社会の変革をもたらすことである。

これらによって「知の活力」を生むことこそが「総合知」であり、「総合知」を推し進めることが、科学技術・イノベーションの力を高めることにつながる。

出典：内閣府総合知ポータルサイト：<https://www8.cao.go.jp/cstp/sogochi/kihon.html>



Kumadai-Hubが目指していること

- セクター・組織の壁を越える
- 分野・立場のちがいを理解する
- 対等に自由に議論できる場をつくる
- いつでも誰でも参加することができる
- 共同研究創出が第一義ではない など

2024年9月11日 於・第38回定例学長記者懇談会

2. 内閣府「総合知」活用事例の選定

参考：内閣府総合知ポータルサイト：<https://www8.cao.go.jp/cstp/sogochi/jirei.html>

内閣府は総合知活用事例を募集して選定を行っている。

2023（令和5）年度に第2回目の公募が実施された。

募集対象：専門領域の枠にとらわれない多様な知を持ち寄り、新たな価値の創出を目指す研究・技術開発

既に成果が得られた取組のみならず、成果を上げつつある進行中の取組や人材育成・教育

カテゴリ：①総合知活用の実践を行う事例

②総合知人材の育成を行う事例

③総合知の活用方法の進化を目指す事例



選定事例タイトル：Kumadai-Hubによる持続可能なステークホルダー間連携基盤の開発

第1回総合知活用事例（2023年6月）

①総合知活用の実践を行う事例：8件

②総合知人材の育成を行う事例：4件

③総合知の活用方法の進化を目指す事例：1件

第2回総合知活用事例（2023年7月）

①総合知活用の実践を行う事例：18件

②総合知人材の育成を行う事例：6件

③総合知の活用方法の進化を目指す事例：4件

2024年9月11日 於・第38回定例学長記者懇談会

3. Kumadai-Hubについて

熊大非公式の集まり

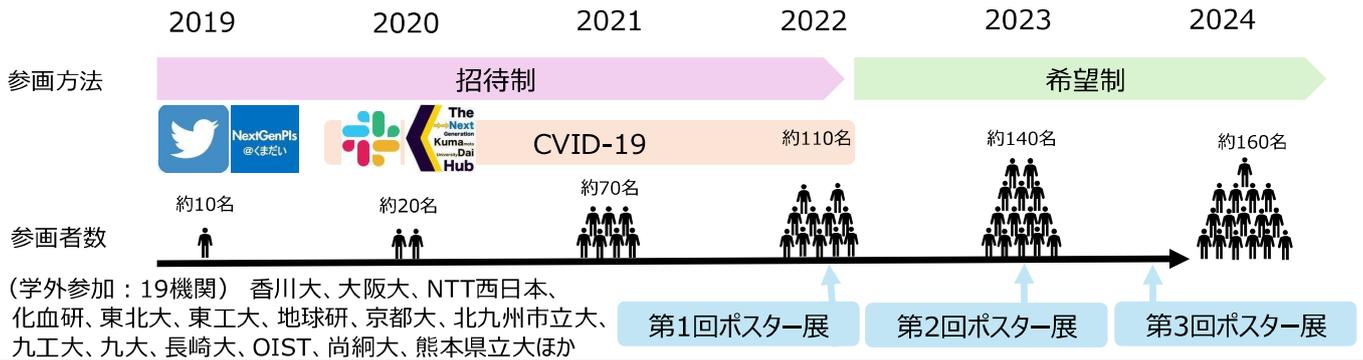
Kumadai-Hubの背景：

- 「総合知」、「異分野共同」、「融合」、「学際」、「共創」の必要性や社会的要求は論を俟たない
- 上位下達、現場の状況やニーズを考慮しない取り組みは科学や学問の推進に結びつかない場合が多い
- 現場にはやる気のある、志やアイデアをもった人材が複数いる



Kumadai-Hubの特徴

- ボトムアップの集まりである
- 自由意志で参加している
- 研究職員のみならず非研究職員や学生それぞれの得意を活かしている

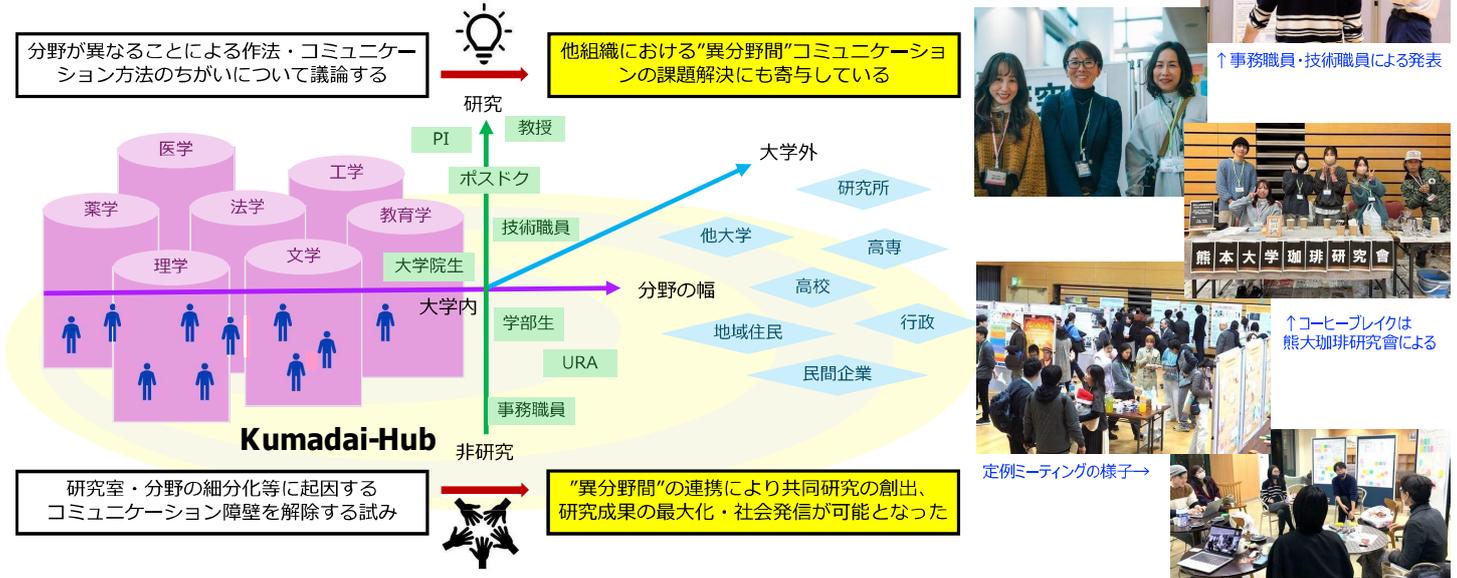


2024年9月11日 於・第38回定例学長記者懇談会

3. Kumadai-Hubについて

Kumadai-Hubの活動 ~研究の前に皆平等~

①日常的コミュニケーション、②定例ミーティング、③パブリックイベント、④国内外への情報発信



2024年9月11日 於・第38回定例学長記者懇談会

令和6年9月11日開催

熊本大学定例学長記者懇談会 資料3



学生ベンチャー 夢プロジェクト2024

熊本創生推進機構
イノベーション推進部門
特任教授 入江 英也
特任助教 猪俣 雄也

夢プロジェクト
キックオフイベントの様子
5月30日 黒髪南キャンパスにて



時間は30分

16個のワードから何種類でも組み合わせ可。

Post-it、ペン等は自由に使って下さい。

チーム内で決めた面白そうなビジネスプランを1~2分程度で簡単に発表して頂きます。

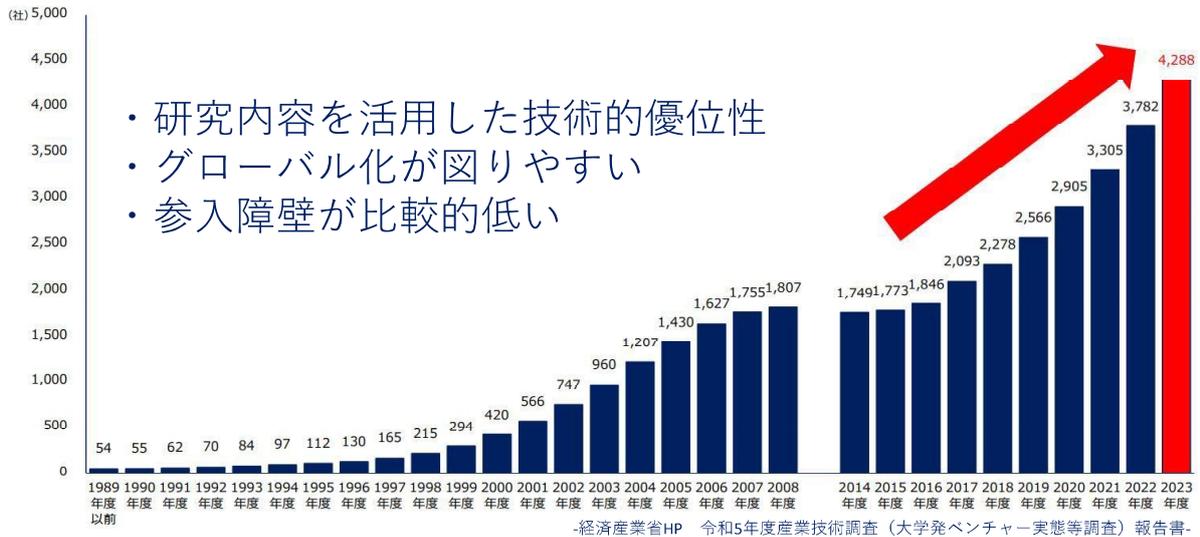
世の中の「誰の」「どのような課題」を解決可能かをベースに考えましょう。

+時間があれば・・・儲かるかどうかについても考えてみましょう！

教育	食事	スポーツ	就活
IT	農業	音楽	健康
言語	医療	学生	熊本
バイト	ラーメン	SNS	田舎

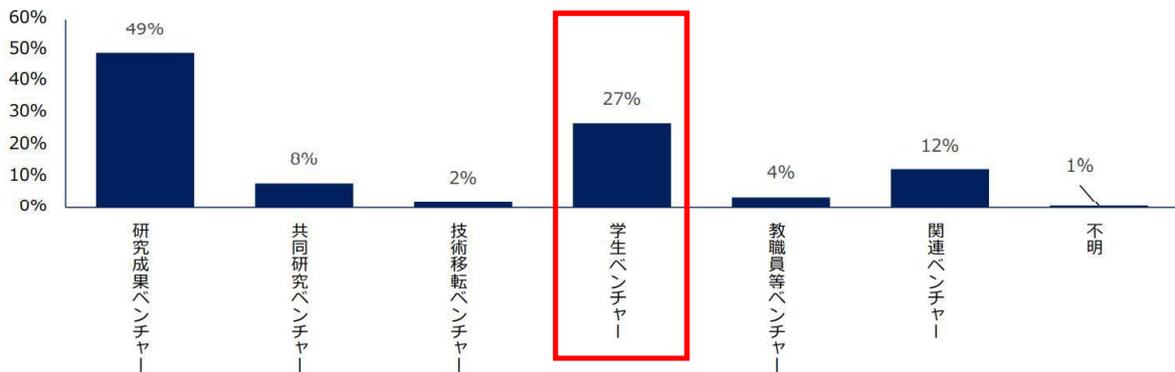
大学発ベンチャーの現状

大学発ベンチャー数の年度推移



2023年度は**4,288社**まで増加
 -熊本大学は29社-

定義別大学発ベンチャーの割合



—学生ベンチャーの定義— 大学と深い関連のある学生ベンチャー。現役の学生が関係する（した）もののみが対象。

経済産業省HP 令和5年度産業技術調査（大学発ベンチャー実態等調査）報告書

27%(約1,157件)が学生ベンチャー

《アントレプレナーシップ＝起業

アントレプレナーシップとは・・・

起業・起業家精神、スタートアップ

+

高い志と倫理観に基づき、失敗を恐れずに踏み出して
新たな価値を創造していくマインド

「起業」＋「経営人材」

課題にチャレンジし、積極的に考え行動できる人材の育成へ

夢プロジェクトとは

《アントレプレナーシップ教育の全体像

-講義-

アントレプレナーシップ 入門

8月集中講義（1単位）
90分×8回 ※教養科目

- ・システム/デザイン思考
- ・自己理解

アントレプレナーシップ 概論

3ターム（1単位）
90分×8回 ※教養科目

- ・概念や理念を学ぶ
- ・先輩起業家事例紹介

イノベーション リーダー育成プログラム

5月～1月末
※博士前・後期対象

- ・実践MOT(技術経営)
- ・DX経営、ベンチャー

-課外活動-

夢プロジェクト

— 1年間の起業体験プログラム —

《夢プロジェクトとは

学生ならではのクリエイティブな発想を、
大学が起業化に向けて支援するプログラム

01

起業体験

ビジネスプラン
構築サポート

02

ビジネスを 学ぶ

学ぶ機会
提供

03

仲間づくり

参加者・外部
交流

コース

個人（今年度29名）

アンビシャス コース



ビジネスプランはないが
起業に興味がある
学生向けプログラム



チーム（今年度4チーム）

プレジデント コース



ビジネスプランを既に持つ
チームに対し試行、実行へ
の資金支援、メンタリング
を実施するプログラム

今年度のチーム（プレジデントコース）

QUINT	稲保全のための ジャンボタニシ誘引剤	
はこにわ	VRを使った 箱庭療法（心理療法）	
Team-u-	看護学生向身だしなみ チェックアプリ	
自転車変速機構の 開発チーム	電動変則機能付自転車	

年間スケジュール



- 4月 ・ 募集期間
- 5月 ・ 審査会、キックオフイベント
- 6月 ・ イノベーションリーダー育成プログラム
- 7月 ・ 夢プロカフェ
- 8月 ・ チーム組成
- 9月 ・ 夏季集中講座・北海道プログラム
- 10月 ・ ビジコンエントリー、PARKS海外派遣（香港※3名予定）
- 11月 ・ 中間報告会
- 12月
- 1月
- 2月 ・ PARKS海外派遣（シンガポール、台湾）
- 3月 ・ 最終報告会

-NEW- 夢プロカフェ（毎週木曜日1時間程度）

- 第一回 ・ 身近な事例で起業を知る
- 第二回 ・ 上場企業の決算を見てみよう
- 第三回 ・ ビジネスアイデアの考え方
- 第四回 ・ 資金調達の仕方
(肥銀キャピタル様)
- 第五回 ・ 3Dプリンタ体験
(工学部)
- 今後 ・ 採用担当者と話す
- ・ ライフプラン
- ・ 起業家に会いに行く
- ・ 起業施設見学
(くまもと大学連携インキュベータ)

等々



アンビシャスコースの学生を中心に
自発的なチーム作りに繋がりたい！



これまで「Tongaliビジネスプランコンテスト」3位の他、好結果を残しており、今年度は更に積極的にビジコンへ参加し、**学生の自信に繋げたい！**



2024.7.20
テックプラングランプリ
ファイナリスト進出



2024.8.7
熊本版未踏的プロジェクト
IPPO採択

プレジデントコース「チームHAKONIWA」

今後について

- ・ **夢プロジェクト含めた、アントレプレナーシップ教育の拡大**

⇒将来的な起業を選択肢に含めた実践的な教育プログラムを充実させる。

- ・ **大学内のシーズを活用した学生ベンチャーの創出**

⇒シーズはあるが、先生自身が起業を希望されない場合に研究室に所属する学生が起業を希望すれば、社会実装に向けた新たな選択肢に繋がる。

五高記念館文化講座

熊本大学キャンパスミュージアム推進機構主催

第一回 9月17日(火) 村田 由美 玉名市草枕交流館館長

「夏目漱石が詠んだ俳句」

第二回 9月27日(金) 小野 友道 熊本大学名誉教授

「柴三郎、鳴外そして漱石 伝染病の明治を生きた先達」

第三回 10月8日(火) 村田 由美 玉名市草枕交流館館長

「青年三四郎を語る」

第四回 10月18日(金) アラン ローゼン 元熊本大学教授

「ハーンと音楽」

主催 / 熊本大学キャンパスミュージアム推進機構

会場 / 五高記念館1階 講義室 (熊本市中央区黒髪2-40-1)

時間 / 10:30~12:00 (開館時間は10:00です)

受講料 無料

事前のお申し込みは不要です。

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ 熊本大学キャンパスミュージアム推進機構 (五高記念館)

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1

TEL 096-342-2050 FAX 096-342-2051

E mail goko@kumamoto-u.ac.jp

令和6年9月11日開催

熊本大学定例学長記者懇談会 報告資料2

2024 September 09



9.11 WED - 17 TUE

蔦屋書店 熊本三年坂
(地下1階 イベントスペース)

熊大 掘

ったら

色々出てきた



まちなか
キャンパス



TALK EVENT

要申込
参加無料

定員 30名(先着順)

※定員に空きがある場合には、当日参加も受け付けます。

申込方法 QRコードまたはお電話にて
お申し込みください。



9.14 SAT
14:00-15:00

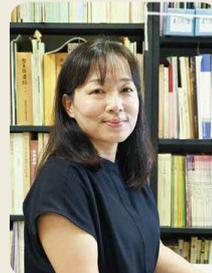
みんなで
学ぼう!

「遺跡の上の熊本大学」

熊本大学 埋蔵文化財調査センター
山野ケン陽次郎・大坪志子



山野ケン陽次郎 助教



大坪志子 准教授

申し込み・問い合わせ先

熊本大学総務部総務課広報戦略室
TEL:096-342-3119



蔦屋書店
熊本三年坂

熊本大学×ニューコ・ワン株式会社共同企画

iPS細胞研究の現在と未来

iPS細胞は私たちの体の細胞から容易に作ることができる細胞です。この細胞からは、体のいろいろな細胞を作り出すことができます。この能力を利用して、iPS細胞から傷んだ体の一部を新たに作り出し、医療に役立てる研究が進められています。しかし、それだけではありません。患者様の血液細胞からiPS細胞を作り、病気研究や治療薬の開発に使うこともできます。本講演では、これらiPS細胞の最近の研究を紹介するとともに、将来、どのようなことができるのかをお話します。

熊本大学発生医学研究所
教授 江良 択実

無料

令和6年9月28日(土)

15:30~16:30

場所

蔦屋書店熊本三年坂地下1階イベントスペース
(熊本市中央区安政町1-2)

対象

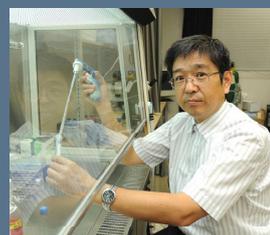
学生・一般の方(どなたでも)

定員

30名(先着順)
※定員に空きがある場合には、当日参加も受け付けます。

申込方法

QRコードまたはお電話で
お申し込みください



江良 択実
研究紹介

難治性疾患の病由来のiPS細胞を使った薬剤開発と疾患研究、さらに再生医療研究を行っています。

経歴

1987年 熊本大学医学部卒業
1993年 熊本大学大学院医学研究科・博士課程修了
1994年 熊本大学医学部 医員
1995年 大阪大学微生物病研究所 助手
1998年 University of California, Los Angeles
Postdoctoral Fellow
2000年 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 研究員
2007年 熊本大学医学部附属病院血液内科 医員
2008年 熊本大学発生医学研究所
幹細胞誘導分野 教授 現在に至る。

申し込み・
お問い合わせ

熊本大学総務部総務課広報戦略室
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39-1
Tel 096-342-3119

